

## 人間 ベートーヴェン

少年の頃からベートーヴェンは体格が良かった。15才当時は広い肩幅と大きな頭、丸鼻で首は短く色黒、姿勢は前かがみで「スペイン人」というあだ名があったという。

青年ベートーヴェンも骨太で筋肉質、強情をうだつたが、この時点で初めて顔のあばたについての記述が出てくる。正確な時期は不明だが、天然痘にかかったらしい。

40才以降の壮年ベートーヴェンも基本的印象は同じである。小柄（身長168センチ）で筋骨たくましく、色黒、あばた面。大きくて立派な頭で、黒くて量の多いぼさぼさの長髪を後ろに流していた。

晩年は白髪になった。不精髭もしょつちゅうで、結構長くのばしていたらしい。

大きな鼻は幅広く、鼻の穴もそれ相應に大きく、鼻くそをほじり、鼻毛抜きは頻繁だった。ひたいは広く高い。

目はそれ程大きくなく、笑うと顔の中に埋没してしまいそうだった。

た。楽譜を読む際などには近視用の眼鏡も使った。目の表情は豊かで、何かアイデアを思いついたような時には突如として見開かれ、くるくると回転するか上をじっと見上げるか前方を凝視する、などの変化が起こり、それと共に小柄な身体も急に大きくなるような印象を与えたらしい。

この突然の変化は散歩中であろうと会話中であらうとどこでもお構いなしに起こり、しばしば回りの人々の注目を集めたさうである。

唇は良い形だった。若い時には下唇が前方に出ているらしいが、頭蓋骨を観察した限りでは上の前歯がかなり出っ歯である。あごの中央と両脇には縦のすじが刻まれていた。

手は大きく毛深く、指も太かった。身体全体の動きは不器用で、しばしば物を取り落としたり割ったりしたという。

ベートーヴェンは世間一般の幸せには縁遠かった音楽家である。

結婚を望みながらも生涯果たすことができなかったし、音楽家として欠かせない聴覚を失った以外にも多くの持病があった。死因は肝硬変である。

こうした病跡を現代医学の知識でとき明かす学問の分野がある

が、1987年にウィーンの病理学者バンクルと内科医イエッセラーが共同でまとめた研究成果の中に出てくるベートーヴェンの様子が実に生き生きとしている。冒頭のベートーヴェンの外観に関する記述もさうだが、もう少しご紹介しよう。

たとえば患者としてのベートーヴェンは全くの落第生だった。1時間ごとに小匙1杯ずつ服用するように、と処方された水薬は大匙1杯ずつ飲んでしまう結果、かえって気分が悪くなる。仕方がないので水をがぶ飲みして薬の効き目を薄めてしまおうと試みる。

食事療法などは3日と守れなかったようだ。またベートーヴェンは酒が好きで、病状にかかわらず飲酒を許してくれる医者が彼にだけは名医だった。

男やもめベートーヴェンの日々の食事は家政婦に作らせるか外食するかだった。晩年のベートーヴェン宅で食事をしたヴァイオリニスト、ベームの文を見てもよう。1824年に書かれたものである。

——ベートーヴェン宅の食事は非常にまずい。とても口に入らないような物も少なくなかった。スープは水の如く、肉は固く油は臭い。しかしただでさえ興奮しやすい。

田園交響曲のインスピレーションを得たといわれるハイリゲンシュタットの散歩道



いベートーヴェンにこの事を悟られてはならなかった。  
私が招待された折には卵が食卓に出された。ひとつめを割ってみるとひどく悪臭がするので、それをそっと皿へ押しやった。ベートーヴェンはこれに気づき、私の皿を横目でにらみながらムスツと一言も喋らなくなってしまうが、彼自身も自分の卵を割ってみたところ、同じような腐乱臭がたちのぼった。

られる卵が通行人に当って警察沙汰にでもならなければ良いが、と、人ごとながら心配になってしまった——  
ベートーヴェンは好んでコーヒーを飲んだ。一杯につきコーヒー豆は60粒と決めていたらしく、客の前で豆を数える事もあった。マカロニにパルメザンチーズをかけたもの、自身の魚のソテーじやが芋添え、鹿、野鳥、猪などの野生動物料理、ポターージュ状のパンスープなどはベートーヴェンの好物だった。夕食は質素で、スープに昼食の残り物をつまむ程度。晩年には行きつけのレストラン

で毎土曜日に「ブルトヴルスト（血のソーセージ）じゃが芋添え」を注文し、レーゲンスブルクのビールを飲み、食後にパイプを一服楽しむのが習慣だった。  
ベートーヴェンは酒好きでワインとビールを好んで飲んだが、ワインは高級なものよりも安いものの方が口に合ったらしい。飲み物といえば井戸水も大好きで、特に暑い夏の盛りには冷たい地下水をがぶがぶ飲んでいた……さて、ベートーヴェンがまだ崇高に見えますか？



バーテンにあるベートーヴェンの住居。ここで「第九」の構想がまもられた。



ハイリゲンシュタットの遺書を書いた家



ハイリゲンシュタットの道にはベートーヴェンに由来する名が多い



ベートーヴェン広場にあるベートーヴェン像